

キリストがすべて

第154号 2017年4月20日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
本学初の博士学位を授与	2
卒業生の証し	4
新任教員紹介	7
大学生の今を考える	8
卒業生特集	10
支援会ニュース	11
Information	14

- ① 博士号学位授与式
- ② 2016年度卒業生
- ③ 図書館の個別学習スペース
- ④ 大学の桜
- ⑤ 「明日の世界宣教育成」支援会



キリストの平和が 支配する心を

神学部長 大和 昌平

日本のカトリック作家遠藤周作の小説『沈黙』が世界のベストセラーとなつて半世紀が過ぎました。遠藤へのオマージュとしてマイケル・スコセッシ氏が監督した映画「SILENCE」が先頃上映されました。この映画製作に携わった日系アメリカ人画家マコト・フジムラ氏は、現在フラー神学校の文化施設プレムセンター長ですが、『沈黙と美』（晶文社）を著して『沈黙』の再評価を試みています。

「形だけのことだ」と幕府役人は語りかけ、毎年正月に絵踏みさせました。柔らかな拷問が二百数十年間続けられて日本人の心に深く刻み込まれた傷を、遠藤周作の芸術はえぐり出したというのです。そのトラウマは「踏絵文化」となつて現代日本人に面従腹背の曖昧さと、隠された形で洗練された美意識を与えたのでしょう。その闇に向かい合うならば、そこに仄見える美を、一条の光をも見出すことができるのではないのでしょうか。キリスト者として美術家としてフジムラ氏は日本におけるキリスト教の希望を語っています。

「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。」
(コロサイ3章15節)

先行きの見えない現実の中でさえ、私たちの心の深いところにはキリストが与えてくださる静けさがあります。キリストに身を委ねる時、私たちの心はキリストの平和によって支配されます。その神の国はたとえ国家権力によつてであろうとも壊されてはなりません。日本のキリスト教の歴史を振り返る時、私たちは痛みをもつてこの神のこゝとの重みを知られます。

壊れやすく繊細で二人の人間として最も大切なもの。その心を「踏絵」は踏み潰してきたのではないのでしょうか。現代日本人の大半が個人としては無宗教を標榜するのも、一個人としての心を挫かれてきた結果ではないのでしょうか。

「少しだけ形を合わせてくれるだけがいいのだ。」そう囁いて絵踏みさせる圧力が近年また強まっています。キリストの平和の支配する心をこそ守り育てていきたい。思いを新たにさせられる春です。



本学初

博士の学位を授与

2017年3月、本学初の博士後期課程修了生2名に博士の学位を授与しました。

岩田三枝子氏は本学准教授・国際キリスト教学専攻長として教鞭を執り、さらに3人のお子さんを育てながらの学位取得となりました。

徐有珍氏は本学非常勤講師であり4月から専任教員(助教)として教鞭を執ります。2009年に韓国から留学され、言語と文化の違いを乗り越えての学位取得となりました。



左から岩田 三枝子氏、徐 有珍氏



博士課程修了にあたって

博士後期課程修了 岩田 三枝子

ハルとの出会い

私が取り組んだ博士論文のタイトルは「賀川ハル 信仰・女性・市民社会」です。賀川ハルは、賀川豊彦「1888(明治21)〜1960(昭和35)」の妻として、市民社会における活動やキリスト教伝道の働きをともに担いました。

私が初めて賀川ハルという女性に出会ったのは、2011年ごろでした。私は修士論文として賀川豊彦をテーマにした論文を書きましたが、その時には妻であるハルには思いも及んでいませんでした。ある日、TCU教研棟1階の廊下を歩いていると、『賀川ハル史料集』全3巻刊行予定のポスターが目にとまりました。ポスターには、史料集のうたい文句として、賀川ハルの日記や、賀川家の家計簿も掲載、とあり、これは読んでみたい、と野次馬根性で読んでみたことが始まりでした。『賀川ハル史料集』は、ハルによる日記や手紙、小さなメモや講演原稿、自伝などの執筆や、ハルに関する同時代の新聞・雑誌記事といったハルに関わる一次資料が収められており、二人の

キリスト者として神様と市民社会の必要に仕えていこうとする熱く力強い信仰と、夫や子供たち、そして日々の生活を愛して楽しむ女性らしい感性に満ちていました。単に豊彦の妻という枠組みを超え、ハル個人としても市民社会活動家としての評価に値します。

一方、私自身の話に戻りますが、大学教育の場に長く携わっていくためにもいずれば博士課程を、とかねてから考えていましたが、情熱をこめて生涯のライフワークとするような研究テーマが念頭になかったことや、TCUでの仕事、結婚・出産・育児など、慌ただしい日々の中で数年がすぎていきました。しかし博士課程に入学する数年前から、今がふさわしい時期であると考え、具体的な博士課程の可能性を探り始めました。

私らしく取り組める研究テーマは何だろうかと考えたとき、私自身がキリスト教世界観を大切にしたい事、クリスチャンであり、日本人であり、そして女性、妻、母であることなどを思い浮かべました。そんな中で出会ったのが『賀川ハル史料集』でした。私が

研究テーマとして込めたいすべてが賀川ハルの中にあると感じました。

人々との出会い

博士論文執筆期間中の恵みは多くありますが、その中の一つは、多くの方々と良き出会いです。博士論文の執筆を始めたころは、生前の賀川夫妻と関わりがあった方々との出会いなどは想像していませんでした。しかし、ハル研究を継続していく中で、研究会などを通してお知り合いになり、その方々を通してまた次の方を紹介してくださる、というようにして、論文執筆が終わるころには15名の方に直接お話を伺うことができました。文献を読んでいただけでは知りえなかったハルの様々な姿をお聞きしているうちに、私は賀川夫妻には直接会ったことはないにもかかわらず、私も会ったことがあるのではないかと錯覚さえ覚えるほど、賀川夫妻を身近に感じるようになりました。

終わりに

この3年間、多くの時間を割き、忍耐をもってご指導くださった大学院の先生方に感謝いたします。また、大学院の実務を担い、常に気づかいと励ましの声をかけてくださった職員の方々に感謝いたします。また、一番身近で研究を応援し、支えてくれた家族に感謝します。そして、決して遅すぎることはない恵みの御手をもって導いてくださる主に感謝します。

TCUでの8年間の学びを終えて

博士後期課程修了 徐 有珍

物語の原体験

私が子供の頃、家には色々な種類の本があり、様々な国の物語に囲まれて過ごすことができました。物語を通して外国の文化や大人の世界を垣間見ながら胸が弾けそうになった瞬間は、私の価値観や世界観の形成に大きく影響し、そのまま私の一部になりました。そして信仰においても、教会での堅苦しい聖書の学びより、自分の部屋で「絵で見る聖書物語シリーズ」を読んだ方が、より分かりやすく理解することができ、またより長く内容を覚えることもできました。

TCUでの学びの中で

TCU神学部で学ぶ中で、私はクリスチャンの教会生活と、それ以外の生活との間に存在する大きなギャップを、どう解決するべきかという強い問題意識を持ちました。そのギャップが埋まらないと、若者が教会から離れてしまふという悪循環が繰り返されるからです。そして学部4年生の時、「クリスチャンユースリーダーのユース問題認識」を主題に卒業研究を行いました。

た。指導教員の岡村直樹先生の助言もあり、教会学校やユースキャンプでリーダーとして活動しているクリスチャンの大学生グループを対象に、ユース問題を扱った二本の映画を鑑賞してもらった後、彼らが映画のナラティブ(物語)をどのように理解したかに関するデータを収集し、それを分析するという形で研究を行いました。当時も今も宗教教育分野における「物語を使った教育の方法」に関する文献は少ないため、研究は毎回の授業から得たディスカッションの結果と、子供の頃経験した物語の力に関する記憶に頼りながら一歩ずつ踏み出すように進みました。そして、大学院修士課程でもこの主題をより深く研究し「宗教教育におけるナラティブ・メソッドの実践」と効果に関する質的研究」という題で修士論文を執筆しました。

博士論文は、その修士論文の延長線上にある研究でした。論文のタイトルは、「宗教教育におけるナラティブ・ペダゴジーの理論と実践」で、副題は「学修者におけるテキストとコンテンツの調和を求めて」です。ナラティブ・メソッドの理論的背景を調査し、

教育計画を建て、実践を通して資料を収集し、それを分析するという課程を数回繰り返し、その後、その分析に基づいた提言をまとめることで、3年間の博士研究を終えました。しかし3年とは言え、学部の卒業研究の時から同じ主題で研究を続けてきたので、実際は6年にわたる研究でした。その6年間の間、私は物語が時空を超え、すべての世代に重要な学びを提供する手段になれるということを実感する喜びをずっと感じていました。物語を通して自分を振り返り、他者を理解し、気付いたことをまとめるまでの過程を見ながら、一番成長したのは、他の誰でもなく、自分自身だったのではないかと思います。

終わりに

2009年の春にTCUに入学した私は、8年間の学びを終えて卒業しました。この8年間、良いことも悲しいこともあり、うれしかった時も逃げたこともありました。幸い、振り返ったみれば、すべてが「幸い」なことでした。6年間にわたって指導してくださった岡村直樹先生に感謝いたします。また、献金を通じてTCUを支援してくださった皆様から感謝いたします。学費の大きな部分が奨学金によってカバーされてきたことは、言葉にハンデを持つ留学生の私にとって、本当に感謝なことでした。そして今から9年前、私を韓国から日本へ導いてくださった神様に心から感謝を捧げます。



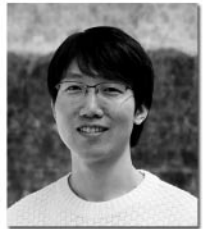
社会に出ていくための備えを…

神学科 神学専攻 大橋 真久

あつという間のTCU生活
が終わり、この4年間の学び
の中で多くのことがありまし
た。その中で学んだことを短
くお分かちしたいと思います。

TCUでは、寮生活や委員
会の活動、実習教会での奉仕
など様々な場面において、「や
るべきことをやる」というこ
とを徹底するようにしました。
それは、このTCUが社会に
出る「前」ではなく、こそもつ
の「社会」だと思ったからです。
クリスチャンの世界と一般社
会を区別してしまいがちな
部分はキリスト教社会には
あると思います。しかし、そ
うではなく、こそもまた一つの
社会であり、責任が与えられ
ている場所だということに覺
えながら、同時にまた別の社
会に出ていくための備えをす
る期間でもあり、その時間を
無駄にしないようにと意識
して生活しました。そのよう
にして、これから遣わされて
行く所で用いられるための備
えができたと思います。

これから一年は、母教会に
戻り、牧師研修生として働
きます。また、さらに学びた
いという思いがあるので、教師
訓練について学ぶために海外
で学びを積み重ねたいと思っ
ています。



「主のからだ」での訓練

神学科 教会教職専攻 金 道均

私はこの2年間、スポーツ
サークルの活動や寮生活を
通して大事な訓練を受ける
ことができました。それは、
主のからだへの理解力を培
うことです。兄弟姉妹たち
と共にバスケットをする中で、自
分がチームでどのような役
割をすべきかを毎回示され、
チームを活かす動きの重要
さについて教えられました。

また寮生活においても、
男子寮運営委員会の働き
を通して、主のからだの欠け
たところを自分の身を持って
満たすという訓練を受けま
した。愛する主のからだに
おいて、TCUでこのように
ダイナミックな活動ができた
ことは大きな喜びでした。こ
の経験が、やがて自分が遣
わされるところでも用いられ
ることを期待しています。

今後は大学院に進み、旧
約聖書に対する理解をさら
に深めていきたいと思ってい
ます。大学院での学びも、主
のからだをより正しく愛す
るためである事を意識しつづ
く、学業と学園生活の両方を大
切にし、かつ誠実に取り組ん
でいきたい、そう願います。





TCUを通して神様がくださったもの

国際キリスト教福祉学科 国際キリスト教学専攻 服部 真歩

TCU 4年間の数え切れないほどの恵みの中で、最も私に影響を与えたのは「世界へ目が開かれる」という恵みでした。ある講義の中で「なぜ私はこの時代に生まれ、キリスト者なのだろうか。」と考えさせられ、これまで全く考えたこともなかった東南アジアへ行く道が開かれました。そして、イヤヤ6章8節の御言葉が与えられ、アジアのために仕えるというビジョンが与えられました。TCUでの4年間を通して、留学や支援ワーカー等で5か国へ訪れ、神様の造られた世界をいっぱい感じ、その文化に触れ、神様が愛されている人々とたくさん出会うことができました。時には、異文化理解や飢餓貧困問題等に悩み苦しむこともありましたが、神様は、私に多くのチャンスを与えられただけではなく、それに加えて教え励まして下さる素晴らしい先生方と、共に喜び、共に泣く、ことのできるかけがえのない友をも与えて下さいました。

卒業後は、韓国の大学院にて神学を学ぶ予定をしています。これから新しく開かれる道も、いつも私の必要を知り満たして下さる主に委ね、歩んでいきたいと思えます。



自分に向き合うことの大切さ

国際キリスト教福祉学科 キリスト教福祉学専攻 鈴木 真保

TCUの恵みといえば、寮生活や授業、実習などを通して、自分と向き合うことで自分に本当に必要なものは何なのかを考えることができたことだと思います。集団生活が苦手だった私にとって寮生活はとても嫌なものでした。とにかくアルバイトのシフトをたくさん入れたりと部屋に引きこもっていたりとそんな日々を過ごしていました。

しかし4年生になつていろんなことから卒業する中で、今までの自分を思い返すとあまりに人との接点が少なすぎる、せめて残り一年だけでも外に出よう、ということとで友達と遊びに行ったり、後輩とご飯を食べゲームをしたりと、結果最高の時間を過ごすことができました。

卒業後は介護福祉士という道を歩もうとしています。実際現場で働くこと自分の足りなさや情けなさに押しつぶされそうになつていますが、何か一つでも得ようと必死になつて頑張っているところです。

一つ二つに頑張らつと、笑顔を忘れないよう日々を大切に過ごしたいと思います。





TCU生活を通しての恵み

大学院修士課程 教会教職者コース 小山 望

TCUでの4年間、落ち着いた環境でじっくりと神学を学ぶことができました。授業で教えられる事柄、仲間との交わりを通して深められる理解、一人御言葉に向き合う中で与えられる発見に、主の恵み深さと御言葉の偉大さを味わわせていただく毎日でした。そして、学びを通して神様の前の有り様についても深く考えさせられてきました。

主の教会に仕えることへの恐れや、自分の弱さや罪深さを覚えさせられると共に、神様から与えられた召しへの確信や感謝も、御言葉や日々の歩みを通して深められていきました。豊かな自然に囲まれ、多くの方々との交わりの中で、家族皆が安全に安心して暮らせたことも、TCU生活を通して与えられた大きな恵みです。この4月から、日本同盟基督教団の伝道師として働きを始めます。ここまでの歩みを守り支えてくださった神様に信頼し、学んだことを存分に生かしながら、神様の召しに忠実な牧会者としての歩みを進めて行きたいと思えます。



牧会をしながらの学び

大学院修士課程 神学研究者・教育者コース 栗崎 路



はじめてTCUに見学に来たのは二年前の冬でした。茨城県の教会で牧師として働き始めて3年目でしたが、もつと学びたいという思いがありました。岡村先生が面談してくださったのを覚えていますが、教務部で資料をいただき、「いつかもし機会が与えられればここで学びたい」と思いつつ帰ろうとしたとき、後ろから職員員の村山さんが呼び止めてくださいました。「大学院の願書締め切りが今週末までなのでギリギリ間に合います。」帰ってすぐ妻と相談し、試験を受けることになりました。

このようにして茨城の教会を牧会しながら通学で学ぶこととなりました。大変でしたが、授業は期待していた以上に素晴らしく、学んだことはこれからの働きの宝となると信じています。特に二年かけて取り組んだ修士論文「無牧の教会に対するサポートシステムの構築」をどう実践していくかは、これからのライフワークとなります。先生方、同級生、スタッフの方々に心から感謝しています。



新任教員の紹介

2017年度から3名の先生を新たにお迎えします。先生方の教育と研究のためにぜひお祈りくださるようお願い申し上げます。



徐 有珍
Seo Yujin 助教

所属教会:単立 キリスト品川教会
主な学歴:東京基督教大学神学部、
同大学院修士課程(M.A.)、
同大学院博士課程(Ph.D.)
担当科目:キリスト教教育、
心理学、韓国語

■ごあいさつ

韓国の短期大学を卒業後、しばらくの社会経験を経て、TCUの神学科2年次に編入し、学士課程、修士課程を経て、この3月に博士課程を修了しました。留学生として来日し、言葉や文化の違いで苦しみ、主のあわれみと、そして多くの皆様の助けや祈りに支えられ、今日に至っています。今後は、専門分野である宗教教育学の研究をはじめ、教育学や心理学、そして韓国語の科目等で、大学のお役に立てればと願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



レベッカ バビリエ
Rebecca Babirye 講師

所属教会:日本福音自由教会協議会
武蔵野福音自由教会
主な学歴:東京基督教大学神学部、
ホイトン大学(M.A.)
担当科目:Total English、
Expository Writing、
Critical Research and
Writing

■ごあいさつ

教員としてTCUに戻って来られて光栄です。私は2013年にTCU神学科ACTS-ESを卒業しました。その後、ホイトン神学校の修士課程で英語教授法と異文化コミュニケーションを学び、修士を終えてから、郷里のウガンダに戻り、ウガンダの日本大使館で働いていました。TCUは、自分のこれまでの学びを生かし、コミュニティを築く情熱を注げる素晴らしい場所だと思いました。TCUでの神様の働きに期待し、そこに加わることを楽しみにしています。



デイビッド・クック
David Cooke 講師

所属教会:日本同盟基督教団
沼南キリスト教会
主な学歴:アズサバシフィック大学
(M.A. in TESOL)、
フラ神学校
(M.A. Intercultural Studies)
担当科目:Total English、
多読・Presentation、
多読・Writing

■ごあいさつ

英語及び国際コミュニケーション担当の教員としてTCUに導かれました。アメリカのテキサス州で育ち、バイオラ大学、アズサバシフィック大学、フラ神学校を卒業しました。これまで18年間、外国人や移民、日本人に英語を教えてきました。TCU生の皆さんには、日本と世界でのミニストリーに備えてコミュニティ形成や信仰と学びの統合を実践してほしいと願っています。

退任された先生方

4名の先生が2016年度をもって退任されました。これまでのご貢献を心から感謝申し上げますとともに、今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



ステパノ・フランクリン先生

1990年本学開学当初より専任教員として、また、第3期学長としてご貢献くださいましたが、2016年度をもって退任されます。なお、2017年度も引き続き非常勤教員として指導にあたって下さいます。



ジョセフ・ポーシャック先生

1994年より本学専任教員として、また、英語教育主任等の役職を歴任され、ご貢献くださいましたが、2016年度をもって退任されます。



西岡 力先生

1991年より本学専任教員として、また、男子寮主事、学生課長、国際キリスト教学科長・専攻長、学長室長等の役職を歴任され、ご貢献くださいましたが、2016年度をもって退任されます。なお、2017年度も引き続き非常勤教員として指導にあたって下さいます。



杉谷乃百合先生

1999年より本学専任教員として、また、企画課長、学生相談室長等の役職を歴任され、ご貢献くださいましたが、2016年度をもって退任されます。なお、2017年度も引き続き非常勤教員及び学生相談室長として指導にあたって下さいます。

大学生の今を考える

TCUは、少数者制によるキリスト教全人格教育をめざし、学生も教職員も全員クリスチャンという日本では稀有な環境の大学です。他大学の学生と比較すれば学びの意欲も高く、真面目な学生が多いかもしれません。しかし近年、社会情勢の変化とともに学生を取り巻く環境は大きく変わっており、TCUの学生もさまざまな現代社会の影響を受けています。

今回は、3月3日に行われた「精神ケア学び会」(TCU教職員の研修会)での杉谷乃百合学生相談室長、篠原基章男子寮主事、辻中保美女子寮主事の発題を元に、大学生を取り巻く社会全体の現状とTCU生に見えるその影響を経済的な環境・アルバイト・学習面の観点で見たいと思います。

1 いまどきの学生生活事情

「見えない貧困」

今年2月にNHKスペシャルで放映された話題になった「見えない貧困」。子ども6人に一人が、世帯年収122万円以下という相対的な貧困世帯にあり、医療機関にかかれない、新しい服や靴を変えない、教科書や本も買えない、にもかかわらず、スマートフォンやタブレット端末は持っている、見た目ではなかなか判別できないという「見えない貧困」の中にいると言われています。

このような環境下で育った子どもは、親の多忙さによるコミュニケーションや家族旅行の経験、学校行事への参加経験などが乏しく、「物質的な欠如」のみならず、「人とのつながりの欠如」「教育・経験の欠如」という欠けを負っています。その結果、自己肯定感が低く、物事に取り組む意欲が低下するなど、子どもの発達にマイナスの影響を及ぼすこととなります。

経済的困難と奨学金・アルバイト

そして経済的に困難な状態は、生活面のみならず教育・学習面においても学生自身に過度な経済的負担を強いることとなります。貸与型奨学金や教育ローンなどを利用すれば、卒業後に多額の借金を抱えるようになります。それゆえ、学生は学費や生活費をなるべくアルバイト

トでまかなおうとします。すると物理的に学習時間や友人との時間が削られ、前述の発達における影響とも重なり、大学での友人関係や学習に困難が生じるケースが多くなります。

この四半世紀で大学生の学生生活事情がどう変わってきたかを図表1の総務省「社会生活基本調査」で比較すると、平日は学業に専念し、休日はアルバイトに専念、そして実際に費やす時間は平日も休日も減少という傾向にあることが分かります。他のデータと合わせてみると、遊ぶ学生とそうでない学生の分極化が進んでいることも分かっています。

図表1 総務省「社会生活基本調査」より
大学生の学業・アルバイト・交際の3項目を抜粋し比較

	学業		アルバイト		交際	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日
1986年	257分	93分	63分	59分	48分	79分
1991年	254分	58分	74分	77分	51分	92分
1996年	223分	48分	87分	89分	45分	79分
2001年	225分	50分	92分	94分	45分	77分
2006年	268分	50分	79分	124分	31分	63分
2011年	273分	52分	79分	99分	27分	58分

このような「学業とアルバイトで精一杯」という傾向は、TCUでも見られます。そして、アルバイトによる寮をはじめとする学生生活と学習への影響は以前よりも増えていると感じることを男子寮・女子寮の両主事は示唆しています。

2 TCU生のアルバイト事情

かつて千葉ニュータウン中央駅周辺が開発途上にあった頃は、商業施設も少なくアルバイトをしているTCU生は限定されていました。しかし、近年、駅周辺の開発が進み、イオンやコストコなどの大型商業施設、家電量販店、飲食店などアルバイト先が増えたことで、現在はおおよそ半数の学生が何かしらのアルバイトをしています。アルバイトをする理由は様々です。学費のため、生活のため、趣味のため、社会経験のため、伝道のためなど。



イオンモール 千葉ニュータウン

もちろん、アルバイトをすることによって得られるものは金銭だけではなく、学生のキャリア形成にも非常に良い影響を及ぼします。また、地域の方への良い証の機会として用いられたというエピソードもあります。ただ、平日の授業、多くの課題が出る授業外学習、学生主体で準備する諸行事、寮運営委員会をはじめとする委員会活動や寮内行事、サークル活動、早天祈祷会、掃除、週末の教会奉仕、そしてアルバイトなどTCU独自の学生生活の忙しさに追われて学習面や生活面に悪い影響が出てしまうという側面があることも事実です。より豊かな学生生活を送るためには、自分のスケジュールを把握し、その中で優先順位をつけるという「メタ認知」が重要となつてきますが、それができない学生は悪循環に陥りやすくなります。

3 今後の課題

奨学金の充実

具体的に学生の経済をサポートする奨学金のさらなる充実も喫緊の課題です。2018年度から日本学生支援機構での「給付型奨学金」の実施が決まっていますが、金額や受給資格などを見ると、十分なものではありません。TCUでもすでに独自の給付型奨学金を設け、年間約三千万円を充てています。しかし、それでも十分に学生の必要を満たせていません。社会情勢の悪化だけでなく、教会教職養成課程をはじめと

して社会人入学者が多いことも奨学金が不足している理由です。これらの奨学金は卒業生をはじめとする個人や教会の皆様、企業団体の皆様からの献金(寄付金)によるところが多いのですが、次代の教会と社会を担うキリスト者を育てるために、さらなる献金をお願いを申し上げます。

学生の成長をデザインする

しかし何よりも、前述したTCU独特の学生生活の忙しさによる様々な影響について考えなければいけません。もちろんその中で成長し、将来へのよき備え・糧として身につけられる学生もいますが、うまく消化できずに心身両面において過度な負担を感じている学生もいます。従来通りの学生生活を見直し、寮をはじめとする学生生活の現状に、教職員がどのように関わり、成長をサポートするべきか。今、「福音を肌で感じさせるキリスト者」の育成をめざすTCUにおいて、信仰、生活、学業をトータルで考え、学生の成長をデザインし続けることが求められています。



平成27(2015)年度科学研究費助成事業(科研費)

国際共同研究加速資金に本学の加藤喜之准教授の研究課題が採択されました。

加藤 喜之准教授

種 目:国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)
課題名:十七世紀オランダにおけるデカルト主義の発展とそのネットワークの研究

主な研究地:オランダ・ロッテルダム大学

期 間:2017-18(平成29-30)年度(在外研究予定は2018年4月~2019年3月)

■ 2016年度までの本学の科研費採択状況

種 目:基盤研究C
岡村 直樹教授
課題名:建学の精神に特徴をもつ大学の震災ボランティア活動と、サービスラーニングの導入
期 間:2014-2016年度

種 目:若手研究B
加藤 喜之准教授
課題名:十七世紀オランダにおけるデカルト主義の宗教・政治思想とその影響
期 間:2015-2017年度

種 目:基盤研究 A
菊池 実教授
課題名:パレスチナ自治区鉄器時代都市の社会的、宗教的变化に関する考古学的総合研究(慶応大・杉本智俊研究代表の分担者として)
期 間:2012-2016年度

種 目:基盤研究 C 一般
森田 哲也助教
課題名:途上国の社会的企業における宗教性と組織文化:質的調査に基づく国際比較研究(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部・木村力央准教授の研究分担者として)
期 間:2016-2018年度

新しい学びの環境

文部科学省による補助事業「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」として、二か所の設備が新規導入また改修されました。



個別学習スペース

図書館には、個別学習スペース(1階閲覧室、2階カウンターブース)とグループ学習スペース(グループ学習室、新聞・雑誌閲覧コーナー、リーディング室)を整備し、**教研棟**には、日本人学生と留学生との交流を促進し、教職員と学生が自由に学び合うスペースを整備しました。グループワーク、オフィスアワー、セミナー、ゼミ、報告会等多様な形で利用されることを期待しています。



卒業生インタビュー

interview

古畑 普 *Furuhata, Amane*

2011年TCU国際キリスト教学科卒業後、日本バプテスト教会連合 白浜バプテスト
 基督教会伝道師として奉仕しながら、同教会が行っている3つの働き(自殺予防の働
 きである「NPO法人白浜レスキューネットワーク」、学童保育「コベルくん」、弁当総菜
 事業「まちなかキッチン」)でも奉仕している。



現在のお仕事について教えてください。

私たちの仕事には、日常と非日常があると思っています。「自殺の名所」と言われている三段壁(白浜町の南海岸にそそり立つ高さ50mの断崖)から毎日電話が来るわけではありません。それは非日常です。普段は、午前中「白浜レスキューネットワーク」で保護されて共同生活をしている方・地域で失業した方たちと「まちなかキッチン」でともに働き、午後は教会員の家庭訪問や銀行など関係各所を回り、夕方には地域の子どもたちと学童保育「コベルくん」で過ごし、夜はまた保護された方とともに夕食をとるといふ毎日です。



その中で、古畑さんが感じているやりがいや使命は どんどころにあるのですか？

「召しと覚悟」それだけで6年間生きてきたと思います。神様が白浜に導いてくださった召しとそれに応えてよしやるぞという覚悟。藤藪牧師からも「命に係わる仕事で、非難されることもあるので、覚悟が必要」と言われてきました。6年間ずっと問われてきたのもこのことでした。

また、最前線にいられるというのやりがいかなと思います。ノンクリスチャンの人たちと過ごす時間が圧倒的に多いという環境。社会の中でクリスチャンとしてどう証しできるかと問われています。



「召し」を与えられたきっかけは何ですか？

TCU4年のインターンシップが私にとっては分岐点だったと思います。神様がこういうところを用意してくれていたんだと、点と点がつながるような感覚でした。その時に、藤藪牧師夫妻が夜中まで時間をかけて話に乗ってくれ、こう言われました。「私たちは十何年、ともに働ける同労者を祈っていた。もしあなたにそのような思いがあるのでしたら、彼らの羊飼いになってください。」この言葉は大きかったです。何か役に立つなら何でもやるぞと思って白浜に行くことを決心しました。

将来のビジョンは何ですか？

具体的なことはまだ分かりません。最初は白浜教会のお墓に入る覚悟で来ました。ただ、「普く広く全世界に福音を伝えたい」というのが私の昔からのテーマです。どこでも何でもいから、形にとらわれずその場その場に合った働き、出会った人たちに仕える働きがしたいと思っています。



TCUで学んでいる後輩へのメッセージをお願いします。

私は国際キリスト教学科の異文化実習でフィリピンに行き、4年生では白浜でインターンシップを経験しました。そのような経験はとても大きなものです。TCUは、チャレンジ精神や目標がある人にはいくらでもチャンスがあり成長できますので、ぜひ後輩の皆さんには4年間という贅沢な時間を十分に生かしてほしいと思います。

支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

地区支援会 活動報告

区では、まだTCUへの認知度が低く、TCUをアピールしていく必要性があります。そのため、支援会のようなイベントを通して、TCUの認知度が高まり、支援の輪が広がっていくことを願っています。



その後、先生と参加者の皆さんで昼食のお弁当を共にしながら、講演の感想やお互いの近況報告などを分かち合いました。先生からは学園の様子や今年の志願状況などのご報告もあり、卒業生も支援者も“宝”として献身者を育てるTCUの働きを支援していく思いを新たにしました。

関西地区 支援会

関西地区学園デー報告

茨木聖書教会伝道師

吉持 尽主

1月14日にTCU支援会関西地区のイベントが大阪府にある茨木聖書教会で開かれました。今回は、木内伸嘉先生をお招きし、「新改訳聖書 2017」の翻訳作業についての講演をして頂きました。来秋に新しい新改訳が出版されることを控え、聖書翻訳がどのようにされているかについて詳しく知ることのできる良い時間を過ごすことができました。参加者の中からは、「聖書翻訳がどのようにされているかを知らなかったのが、大変、勉強になった。」という声を頂きました。さらに、今回の講演を通して、東京基督教大学のアピールもでき、実際に支援会に加わってくださる方も起こされました。しかし、関西地区では、まだTCUへの認知度が低く、TCUをアピールしていく必要性があります。そのため、支援会のようなイベントを通して、TCUの認知度が高まり、支援の輪が広がっていくことを願っています。

石川地区 支援会

石川地区学園デー報告

泉野聖書教会牧師

中西 明

2017年1月23日、TCU支援会石川地区にて金沢聖書キリスト教会を会場に「学園デー」が行われました。今回の集いでは、TCUより中澤秀一先生をお招きして、先生より講演と学園支援のPRをしていただきました。講演内容は、中澤秀一先生の自己紹介とともにプロ野球選手から福祉の働きへの転身とクリスチャンになられたお証、さらに祈りと導きの中でTCU教授になられた証、そして先生の専門分野から人を相手とする介護の働きとしてバーンアウト予防のお話をお聞きすることができました。先生の講演は、地方で信仰生活と伝道に励む私たちにも大変役に立ち励みとなりました。

卒業予定者との懇談会を行いました

2月2日、TCUチャペルで「支援会チャペル」を行い、昼食後には同窓生と卒業予定者との懇談会を行いました。「支援会チャペル」では玉井幸男氏（海老名シオンの丘教会牧師、96年TCU国際キリスト教学科、99年TCTS卒業）がメッセージを取り次ぎ、午後の懇談会では関東地区支援会委員と同窓会役員がコーヒーとケーキで卒業予定の学生たちを歓迎しました。



全国会議を行いました

3月27日、今年もTCU支援会全国会議がTCUのFCCを会場に行われました。北海道から沖縄まで15地区に広がった地区支援会の委員が集まり、一年間の感謝報告とともに今後のTCU支援の輪を広げるための熱い討議が行われました。2016年度の目標であった6,500万円を達成する見込となり、支援して下さった多くの皆様に感謝をし、必要を満たして下さる神様をあがめました。



『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2016年度（2016年4月～2017年3月）の『明日の世界宣教者育成募金』は、2月末までに997の支援者より、6,238万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

献金感謝報告

尊いご献金とご加禱、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2016年11月1日から2017年2月28日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。

（敬称略）

大学献金

愛知泉キリスト教会／旭キリスト教会／麻布霞町教会／足立愛の教会／足立キリスト教会／姉ヶ崎キリスト教会／荒川教会／安城中央キリスト教会／井荻福音キリスト教会／五十嵐キリスト教会／池戸キリスト教会／活けるキリスト教会／生駒めぐみ教会／石川地区学園デー／泉野聖書教会／和泉福音教会／市川北バプテスト教会／宮望みキリスト教会／市原平安教会／茨木聖書教会／いわきキリスト教会／磐田キリスト教会／印西牧の原キリスト教会／宇都宮聖書バプテスト教会／浦和福音自由教会／宇和島南伝道所／海老名シオンの丘教会／大野キリスト教会／大阪キリスト教会／桶川福音自由教会／香芝めぐみ教会／春日部福音自由教会／交野キリスト教会／神奈川伊豆宣教会連合青年会／金沢聖書キリスト教会／金沢中央教会／株式会社創世ライフワークス社／株式会社ノア／鎌ヶ谷教会／上岡聖書教会／亀田キリスト教会／軽井沢キリスト教会／川越福音自由教会／カンパランド長老キリスト教会／日本中会／北秋津キリスト教会／衣笠中央キリスト教会／岐阜キリスト教会／希望が丘教会／希望が丘教会教育部／希望キリスト教会／行徳キリスト教会／京都聖書教会紫苑の会／峽南キリスト教会／共立基督教研究所・共立研修センター同窓会／清瀬グレースチャペル／清瀬福音自由教会／久遠基督教会／久喜福音自由教会／釧路キリスト福音館／国立のぞみ教会／クライストコミュニティ／クライストコミュニティ／東神戸リバイバルチャペル／久里浜福音教会／久留米聖書教会／黒部キリスト教会／恋が窪キリスト教会／高座教会／鴻巣福音自由教会／古河教会／五香教会／小平聖書キリスト教会／湖北パークサイドチャペル／西大寺キリスト教会／坂之上バプテスト教会／桜が丘キリスト教会／佐渡金井キリスト教会／サムエル幼稚園／三遠南信地区TCUセミナー／志木新座めぐみ教会／静岡サミル聖書教会／静岡めぐみ教会／下馬福音教会／下北沢聖書教会／社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会／自由ヶ丘めぐみ教会／招待キリスト教会／白井聖書教会／新鎌ヶ谷聖書教会／新札幌聖書教会／信徒聖書学校／新松戸キリスト教会／新松戸福音自由教会／須賀川めぐみキリスト教会／杉並教会／鈴鹿キリスト教会／鈴鹿園／ゼエバンゼリカル・ライアン・ミッション／聖教会インターハートチャペル／西武柳沢キリスト教会／世田谷中央教会／千住キリスト教会／草加福音自由教会／高岡福音キリスト教会／高田ファミリーチャペル／高槻福音自由教会／高松キリスト教会／高松シオン教会／玉川上水キリスト教会／多摩教会／多摩ユータウンキリスト教会／たまプラーザキリスト教会／千種キリスト教会／津田沼教会／土浦めぐみ教会／手打ち齋亭なる堵／東京インドネシア福音教会／東京キリスト教学園同窓会／東京国際基督教会／東京中央教会／東御キリスト教会／東林聖書キリスト教会／徳丸町キリスト教会／所沢聖書教会／苫小牧福音教会／豊川中央キリスト教会／豊栄キリスト教会／豊橋福音聖書教会／中津聖書教会／長野福音教会／長良キリスト教会／流山のうた実行委員会／ソックヘル／名古屋福音自由教会／那覇バプテスト教会／新潟福音教会／新津福音キリスト教会／西船橋キリスト教会／日本聖公会日本キリスト教連合会／日本長老教会中部中会／日本長老教会武蔵中会／日本同盟基督教団信州宣教会／日本同盟基督教団常磐宣教会／日本同盟基督教団新潟山形宣教会「教会と国家」委員会／日本メソヂストキリスト教会協議会／練馬神の教会／のびのびキリスト教会／波崎キリスト教会／蓮沼キリスト教会／鳩ヶ谷福音自由教会／浜田山キリスト教会／浜松中沢教会／東吾野キリスト教会／東久留米泉教会／東小金井教会／東広島めぐみ教会／東大和刈穂キリスト教会／ひたち光教会／広島地区学園デー／福岡めぐみ教会／藤枝中央キリスト教会／仏子キリスト教会／府中西原キリスト教会／富津教会／船橋高根教会／古川教会／平和台恵教会／北総警備保障株式会社／蛭池聖書教会／本郷台キリスト教会／前橋キリスト教会／町田金井バプテスト教会／町田聖書キリスト教会／町田南キリスト教会／松原聖書教会／馬堀聖書教会／店村第一教会／南

柏聖書教会／宮園キリスト教会／めぐみ教会／恵みバプテスマ教会／八街キリスト教会／八街福音キリスト教会／八千代聖書教会／大和郡山めぐみ教会／山の下福音教会／有限会社友愛書房／ゆりのきキリスト教会／洋光台キリスト教会／横浜岡村教会クリスチアス委員

児玉幸／小塚朝生／後藤玲子／後藤弘／小林清／小林高德／小林充尚／壽子／小林規子／小林正樹／小林宮子／小林悠／匿名／小和田幸平／齋藤明夫／齋藤潔／ますみ／坂口到／坂本正路／佐久間章／佐久間謙介／櫻井菊子／笹川雅弘／佐々木保雄／佐竹十喜雄／佐藤省三／佐藤良子／佐中久美子／佐羽内玲子／沢谷千代子／塩見治子／篠田澄子／篠原基章／柴田初男／柴田美枝子／渋谷俊雄／島田務／弥生／島田治夫／嶋田玲子／清水定人／清水尚子／清水ゆり香／下川友也／ヨリ／莊司明

万城栄治／久美／万城紘／啓子／三浦称／聖子／三川京子／水越悦夫／佳子／溝口昌樹／宮城聡子／宮崎淳子／宮原尚美／宮本京子／宮脇聡史／宮脇星児／栄子／虫明英雄／匿名／虫明令子／村瀬俊夫／森明夫／律子／森和亮／富喜子／森惠子／森田和子／森田哲也／森本文子／森本祥子／森本信幸／麻子／森本英利／好惠／森山洋子／八木保夫／律子／谷中清子／柳沢美和子／数田三保子／山内慎也／山岡勝次／山川暁／山口陽一／山下広文／大和昌平／山本和義／山本美喜男／山本陽一郎／順子／横尾洋子／横山清行／留美子／横山幹雄／吉敷晶彦／吉田満知子／吉野弘子／吉持章／吉持日輪生／劉芽久美／若田部嘉代／渡邊美津子／渡邊陽子

大学院設立献金

枝川愛の教会／志木新座めぐみ教会／津豊ヶ丘キリスト教会／東京国際基督教教会／東大宮福音自由教会／みこは福音教会／盛岡みなみ教会／陳灯術／阿久津康彦／荒井創／新井竜治／伊藤天雄／岩田順也／岩田三枝子／宇内千晴／加藤正之／川島敬子／神田結実子／金昌秀／倉沢正則／多美子／小暮与作／道子／小林高德／宮子／齋藤弘司／櫻井菊子／篠原基章／柴田初男／武田厚子／武田順児／田中幸子／徳田信／中山良男／馬場千晶／早川佳枝／平野雅子／藤田正／堀内亨祐／森健／山口陽一／大和昌平／横森剛

教会音楽献金

あらし野キリスト教会／クリスチアスコナサート／みふみバプテスマ教会／横芝キリスト教会／自由ヶ丘めぐみ教会／千葉栄光教会／卒業修了記念コンサート／筑波みこは教会／屋下がりのコンサート／柏キリスト教会／八街栄光キリスト教会／誉田キリスト伝道所／蓮沼キリスト教会／伊藤天雄／宇内千晴／岩田順也／菊池実／君塚光治／溝口昌樹／山口陽一／篠原基章／小林高德／宮子／松永優／順子／神田結実子／川島敬子／倉沢正則／多美子／大高市子／大竹海一／紀子／大和昌平／匿名／匿名／内藤真奈／富所正史／平野雅子／並木孝之

夏期伝道献金

伊藤天雄／菊池実／原田真満／山下真美／山口三治／山口陽一／篠原基章／小林高德／宮子

異文化実習支援献金

伊藤天雄／加藤美杏香／岩田三枝子／原田性座耶／根岸幸加／山口陽一／篠原基章／小林高德／宮子／森優子／森田哲也／神田結実子／菅原好江／西岡力／石塚恵司／和子／川元久美／川島敬子／倉沢正則／多美子／鳥海祥／匿名／柳沢美和子

教会教職者志望学生奨学金基金

株式会社ノア／桜が丘キリスト教会／佐渡金井キリスト教会／新船橋キリスト教会／千葉二コータウン・バプテスマ教会／名古屋南福音自由教会／馬堀聖書教会／八千代聖書教会／陳灯術／金容植／匿名／泉さえ／伊藤天雄／宇内千晴／江頭聡子／大長寿恵／沖野毅／川島敬子／川島祥子／神田結実子／木内伸嘉／菊池実／木下和好／恵美子／木村美紀子／倉沢正則／多美子／小暮与作／道子／小林高德／宮子／小和田幸平／齋藤弘司／佐藤良子／篠原基章／柴田初男／杉山年彦／田邊滋／桂谷口精子／中川洋佑／麻祐／中谷美津雄／桂子／匿名／並木孝之／並木由喜子／馬場千晶／早川佳枝／原田靖彦／裕子／久島奎玉／平塚治樹／藤田正／水越悦夫／佳子／溝口昌樹／三井平康／匿名／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／山下真美／大和昌平

留学生奨学金基金

宇和島南伝道所／株式会社ノア／陳灯術／金容植／徐有珍／阿部伊作／李炳堉／石塚恵司／和子／伊藤天雄／宇内千晴／大下由利子／岡田浩平／岡田雄／長下部昇／川島敬子／神田結実子／菊池実／倉沢正則／多美子／匿名／小林高德／小林宮子／佐竹十喜雄／篠原基章／張賢國／崔永焄／鳥海祥／鳥海洋／内藤真奈／野瀬朋子／原田性座耶／平野雅子／藤田直樹／水越悦夫／佳子／溝口昌樹／匿名／匿名／森惠子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／大和昌平

学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教者育成募金
〇〇一〇一五―一五七五六四八

Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料
問…問い合わせ先 申…申し込み先

オープンキャンパス

日 5月12日(金)～5月13日(土)寮一泊型
[5月13日(土)のみ参加可]、
6月17日(土)、7月15日(土)
内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、
キャンパスツアー、模擬授業、
学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談

問 申 本学ウェブサイトからお申込み下さい。
教務課入試担当(0476-46-1131)

夏期卒業式

日 7月7日(金)13時30分～
所 本学チャペル

問 総務課(E-mail:soumu@tci.ac.jp)

ケアチャーチセミナー

テーマ「新しいコミュニティのかたちをめざして
～小さな一歩からの軌跡」

日 7月17日(月・海の日)13:00～16:00
所 お茶の水クリスチャンセンター8階チャペル
講 池田 恵賜(本郷台キリスト教会牧師)、
同教会関連のNPO法人の代表
料 1,000円(資料代)

問 申 TCUケアチャーチプロジェクト
TEL:0476-46-1131 E-mail:tci@tci.ac.jp

FCC教会教職特別セミナー

テーマ「(仮)救世軍の社会活動、災害支援」

日 5月15日(月)13:00-15:30
所 国際宣教センターチャペル
講 石川 一由紀(救世軍震災支援事務局長)
料 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)
申込内容 ①氏名②電話③E-mail④所属教団・教会名
申込締切 5月10日(水)

申 国際宣教センター(FCC)
E-mail:fcc@tci.ac.jp Fax:0476-31-5521

編集後記

今号は卒業生・修了生特集でした。卒業生の証しや写真を集めながら、TCUでの日常の日々が、学生一人一人にとって大きな意味のある日々であったことを改めて感じました。そして、その日常がまた今年も始まりました。

パイプオルガンさんこんにちは

日 5月20日(土)13:30～14:30
所 東京基督教大学チャペル
内容 オルガン+パーカッションのコラボ
料 無料、申込不要

2017年度公開講座

- 第1回 **日** 6月5日(月)13:10～15:10
講 武 義和(土浦めぐみ教会音楽主事 本学講師)
内容 新しい歌を主に・こともからおとなまで、
一緒にうたえる歌を2
*昼下がりのコンサート:12:20～12:50
演奏 田口怜子(マリンバ)、田口靖子(ピアノ)
- 第2回 **日** 9月18日(月)13:10～15:10
講 大角 欣矢(東京藝術大学教授)
- 第3回 **日** 10月16日(月)13:10～15:10
講 朝岡 勝(徳丸町キリスト教会牧師)
- 第4回 **日** 10月30日(月)13:10～16:10
講 鈴木 和子(フジテレビボイストレーナー)
- 第5回 **日** 11月17日(金)13:10～15:10
講 宇内 千晴、内藤 真奈

2017年度公開講座に関するお問い合わせ

問 教会音楽アカデミー
TEL:0476-46-1131(代)
E-mail:music@tci.ac.jp

※詳細は、本学ウェブサイトをご覧ください。

第46回夏期教会音楽講習会

日 2017年7月20日(木)～7月22日(土)
所 東京基督教大学
主題 「共にささげる賛美」
内容 礼拝・講演・実技レッスン(器楽、声楽、作曲)・
演習(アンサンブル)・コンサートなど
対象 音楽奉仕者(指導者・奏楽者・賛美奉仕者など)、
学生(中高生含む)、教職者、信徒有志
実技レッスン受講生定員 各12名

料 受講料:17,000円 聴講料:12,000円
中高生:10,000円(受・聴講同額)

※5月初旬、本学ウェブサイトにも詳細がアップされる予定です。

問 教会音楽アカデミー
夏期教会音楽講習会担当
TEL:0476-31-5522 FAX:0476-31-5521
E-mail:fcc@tci.ac.jp